



岩村みゆき 議員

Miyuki Iwamura



新年度予算

トピックス

質疑あれこれ

一般質問

議会用語

追跡

Q. 不登校、虐待から子どもの命を守るためには A. 家庭、学校、教委が関係機関と連携している

- Q** 不登校児童生徒への豊山町の対応は。
- A** 教育委員会事務局長 小中学校4校と教育委員会で「いじめ不登校対策委員会」を年5回開催。
毎月末に不登校児童を把握し、指導している。また、スクールカウンセラーを全校に配置。適応指導教室「しいの木」では3人の指導員が活動し、この内の一人が、豊山町教育相談員として、保護者などからの悩み相談をしている。
愛知県教育委員会の家庭教育コーディネーターや子育てネットワーク、尾張福祉相談センター、尾張中央児童センターと連携し対策を検討している。
- Q** 地域の力をもっと引き出したいと考えるが。
- A** 教育長 学校、家庭、地域
- Q** 社会の連携が不可欠。27年度、シニア地域デビュー事業を行った。また、スポーツ少年団、ふれあい広場、民生児童委員や保護司会や老人クラブなど、多方面で連携している。
- Q** スクールソーシャルワーカーを設置する考えは。
- A** 教育委員会事務局長 多様化・複雑化する子どもの状況への対応など、教員の専門性だけでは対応は困難。スクールソーシャルワーカーは、家庭や行政、福祉関係施設と連携しながら、子どもの環境を調整するもの。趣旨は賛同するが、先進事例も多くな、慎重に検討する。
- Q** 学校、保育園において虐待を発見するためのマニュアルはあるか。
- A** 生活福祉部長 愛知県が作成している「子どもの虐待対応



▲おとうさんのおひざが大すき

- 「マニュアル」を活用し、対応している。
- Q** 全国共通ダイヤル「189」が開設された。もっと周知をするべきではないか。
- A** 生活福祉部長 ポスターの掲示やリーフレットなどで啓発に努めている。今後は、広報やホームページなど、定期的な啓発・周知活動を実施していく。